

■阪神・淡路大震災30年事業の推進

事業コンセプト ～震災の教訓とともに未来に繋ぐ～

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、これまでの「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」に「**繋ぐ**」を加えた基本コンセプトを設定し、県民、関係機関・団体等と連携し、ひょうご安全の日のつどいや30年記念事業を展開

忘れない

伝える

活かす

備える

繋ぐ

「**繋ぐ**」：震災の経験と教訓を「世代」「地域」を超え、広く継承・共有していく

施策体系

1 ひょうご安全の日のつどい
追悼と誓いの場

2 記念事業
災害文化の醸成を目指した活動

3 広報事業
震災30年の機運を盛り上げる活動

4 助成事業
県民による主体的な防災・減災活動

震災の教訓を
ともに未来に繋ぐ



忘れない
伝える
活かす
備える
繋ぐ

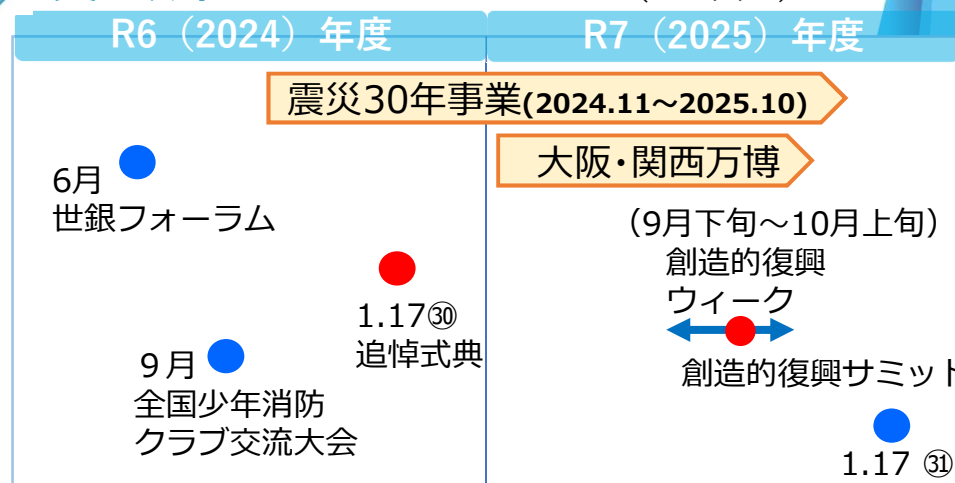
阪神・淡路大震災30年

推進主体

ひょうご安全の日推進県民会議

- ・会 長：知事
- ・構成員：133団体・個人

実施期間 2024.11～2025.10（1年間）



■阪神・淡路大震災30年事業の推進

事業コンセプト ～震災の教訓とともに未来に繋ぐ～

○ひょうご安全の日のつどい

阪神・淡路大震災から30年の節目となる2025年1月17日(金)に、兵庫県公館とHAT神戸において、ひょうご安全の日のつどい事業を開催

✿ 1.17のつどい - 追悼式典 -

- ▶ 震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全安心な社会づくりに向けて歩む決意を発信
- ▶ 兵庫県公館、HAT神戸の2会場で開催

▼追悼式典（震災25年）



歩 1.17 ひょうごメモリアルウォーク

- ▶ 県民一人ひとりの防災意識を新たにするため、復興した街並みを歩き、「繋ぐ」機運を醸成
- ▶ 王子公園～HAT神戸（4kmコース）

メモリアルウォーク▶



🎈 交流ひろば・ステージ、防災訓練

- ① 交流ひろば
 - ▶ 防災関係機関等による活動展示・炊き出し
 - ▶ 体験型の防災・減災学習
 - ▶ 大阪・関西万博（フィールドパビリオン等）PRブースの出展 等
- ② 交流ステージ
 - ▶ 防災クイズショー、ミニライブ 等
- ③ 防災訓練
 - ▶ 体験型訓練、デモンストレーション型訓練

▼交流ひろば・ステージ、防災訓練



■阪神・淡路大震災30年事業の推進

事業コンセプト ～震災の教訓をともに未来に繋ぐ～

○記念事業の展開

①阪神・淡路大震災30年記念事業の実施

- ▶ひょうご安全の日推進県民会議企画委員会事業の実施
- ▶各部局等において、将来の備えにつながる、防災・減災をテーマとした事業の実施

○広報事業による発信

①30年記念ロゴマークの周知 新

30年記念ロゴマークを活用した県内外への広報を実施

ロゴマーク▶



新

②若者による「震災の教訓を繋ぐプロジェクト」の展開

人防センター等と連携し、県内学生を中心とした若者PTによる動画作成など、次世代に震災の経験と教訓を繋ぐための広報活動を検討・展開

③発信ツール・記録誌の作成

- ▶ひょうご安全の日30年特設サイトの開設
- ▶新ひょうご防災アクションのリニューアル
- ▶30年広報ポスター・リーフレットの制作
- ▶阪神・淡路大震災30年事業記録誌の制作 等

○助成事業の拡充

①ひょうご安全の日推進事業助成事業の拡充

地域団体等が実施する防災減災への取り組みを支援

- ▶震災30年の機運醸成のため「減災月間」や「創造的復興ウィーク」を中心に事業実施を促進
- ▶防災ツーリズムの推進に向けて「防災まち歩き」に資する取り組みへの支援を充実

対象事業拡大

記念事業実施期間に開催する行事への加算を全県・地域事業に追加 (R6.11～R7.10)

助成区分新設

防災まち歩きイベントや語り部ガイドの育成等に資する取組を支援する区分新設(R6.4～)